

## 平成26年度 9月補正予算案のポイント

### 《補正予算案の特色》

#### ◎ 県民生活の安全・安心の確保

- ・ 災害による被害を未然に防ぐため、土砂災害警戒区域等の指定に向けた調査を前倒して実施するとともに、河川の氾濫危険水位等の見直しを行います。
- ・ 7月の台風第8号による被害に対応するとともに、災害時の緊急輸送路等の整備や河川施設の改修などの防災・減災対策に取り組みます。

#### ◎ 長野県の発信と地域活性化

- ・ 今夏の台風及び天候不順による観光客減少に対応するとともに、北陸新幹線金沢延伸や善光寺御開帳などといった機会を捉え、国内外で切れ目のない観光誘客促進事業を展開します。
- ・ 信州まつもと空港の路線拡充を図るため、旅客需要等の基礎調査を実施するとともに、運輸上の課題を整理し、必要となる空港機能の強化に向けた整備要件等を検討します。
- ・ 2016年に日本で開催される予定の主要国首脳会議(サミット)が県内で開催されるよう誘致活動に取り組みます。

#### ◎ 人づくりと子ども支援

- ・ 県の教育施策を推進するため「県立大学設立参与」及び「高等教育参与」を設置します。
- ・ 「子ども支援センター」(仮称)の平成27年4月開設に向け、相談窓口に配置する電話相談員の研修等を実施します。

#### ◎ 人口減少社会への対応

- ・ 「人口減少の抑制」と「人口減少を踏まえた地域社会の維持・活性化」の取組を全県挙げて推進するための総合戦略の策定に着手します。

### ◎ 補正予算額

74億3094万3千円 (会計間の重複を調整後)

(債務負担行為 91億1630万9千円)

一般会計 (債務負担行為)	68億4376万9千円 (24億2530万7千円)
母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計	442万8千円
流域下水道事業費特別会計 (債務負担行為)	5億199万9千円 (61億4100万円)
電気事業会計 (債務負担行為)	8517万5千円 (5億5000万2千円)

## ◎ 県民生活の安全・安心の確保

## 土砂災害基礎調査の実施 900万円 &lt;建設部&gt;

がけ崩れ、土石流、地すべりのおそれのある土地の区域を明らかにするため、土砂災害警戒区域等の指定に向けた基礎調査を前倒して実施

- ・対象市町村：6市町村
- 〔基礎調査の実施：27か所（平成26年度）〕

## ⑨ 河川の氾濫危険水位等の見直し 1億387万円 &lt;建設部&gt;

市町村が的確に避難勧告等を行えるよう、避難勧告等の発令の目安となる河川の氾濫危険水位等の見直しを実施

- ・対象河川：千曲川など34河川（洪水予報河川及び水位周知河川）
- 〔対象となる34河川において見直しを実施（平成26年度）〕

県単独公共事業 41億4460万8千円  
 （債務負担行為 2億2000万円）  
 ※うち平成26年7月台風災害分 13億2760万8千円  
 （債務負担行為 4000万円）

&lt;林務部、建設部&gt;

平成26年7月の台風第8号により南木曾町をはじめ県内各地で発生した被害に対応するとともに、災害時の緊急輸送路等の整備、河川や砂防施設の整備などの防災・減災対策を追加実施

- ・被災箇所の応急対策・復旧工事等 128か所（南木曾町、上田市、茅野市、飯綱町ほか）  
 （道路、河川、砂防、治山）
- ・緊急輸送路整備、道路の防災対策等 135か所
- ・河川、砂防施設の整備 109か所

## 道路の拡幅等による安全確保(街路事業) 4億5961万円 &lt;建設部&gt;

渋滞の解消と歩行者・自転車の通行の安全確保を図るため、道路の拡幅や歩道整備を実施

- ・道路拡幅工事等：3か所
- 〔用途地域内都市計画道路整備率：46.7%（平成25年度末）→47.5%（平成26年度末）〕

## 交通安全施設の整備 7528万6千円 &lt;警察本部&gt;

大雪時等における交通障害を防ぎ、交通の安全と円滑化を図るため、信号機などの交通安全施設の改良等を実施

- ・事業箇所：信号機改良（高度化）9か所など
- 〔早期適切な交通状況の把握・分析及び提供により、災害に強い安全・安心な交通環境を確保〕

## 降ひょう等による農作物被害への支援 526万4千円 &lt;農政部&gt;

降ひょう等による農作物被害に対して市町村が行う緊急対策事業を支援

- ・事業主体：東御市、松川町、松本市、塩尻市、山形村、朝日村、長野市
- ・事業内容：病害虫防除のための農薬、代作用種苗の購入・配付等

## 防災行政無線の設備更新 7億6674万9千円 &lt;危機管理部&gt;

災害時に安定した通信手段を確保するため、現在整備中の県庁局に加え県現地機関、市町村・消防本部等の衛星系無線通信装置を更新

- ・実施設計：109か所（現地機関、市町村等）
- ・更新工事：防災交換機11か所（県合同庁舎等）
- 〔無線通信装置更新箇所数：112か所（平成29年度）〕

## ◎ 長野県の発信と地域活性化

### ◇ 信州ブランドの普及・拡大

観光誘客のための「2015信州発信事業」の展開 4470万9千円 <観光部>  
(債務負担行為 432万円)

今夏の台風及び天候不順による観光客減少に対応するとともに、北陸新幹線金沢延伸や善光寺御開帳などといった機会を捉え、国内外で切れ目のない観光誘客促進事業を展開  
〔首都圏からの観光客増加数：22万人（平成27年）〕

「おいしい信州ふード(風土)」プロジェクトの推進 723万円 <農政部>  
(債務負担行為 3492万7千円)

「おいしい信州ふード(風土)」の県民認知度向上と販路拡大を図るため、「おいしい信州ふード(風土)」SHOPの発信力強化を支援するとともに新たな販路開拓を実施

・「銀座NAGANO」での商談会の実施等

〔県民認知度：40.3%（平成25年6月）→65%（平成27年度末）〕

〔「おいしい信州ふード(風土)」SHOPの登録店舗数：

368店舗(平成25年度末)→600店舗(平成27年度末)〕

### ◇ 松本空港の活性化

⑨ 信州まつもと空港の路線拡充に向けた調査・検討 350万9千円 <企画振興部>  
(債務負担行為 606万円)

信州まつもと空港の路線拡充を図るため、旅客需要等の基礎調査を実施するとともに、運航上の課題を整理し、必要となる空港機能の強化に向けた整備要件等を検討  
〔信州まつもと空港利用者数：8万5千人（平成25年度）→12万人以上（平成29年度）〕

### ◇ スポーツの振興

松本平広域公園陸上競技場の設備改修 2億577万円 <建設部>

平成28年8月に開催される全日本中学校陸上競技選手権大会において充実した競技環境が提供できるよう、大型電光掲示盤を改修

〔整備水準：全国大会開催が可能な水準（平成27年度末）〕

⑨ 松本平広域公園の機能向上のための検討 2493万円 <建設部>

全国的スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興などを図るため、松本平広域公園内の運動施設等の機能向上について調査・検討

### ◇ 主要国首脳会議（サミット）の誘致

⑨ 主要国首脳会議(サミット)の誘致 327万7千円 <産業労働部>

長野県の持つ強み・価値を世界に対してアピールするため、2016年に日本で開催される予定の主要国首脳会議（サミット）が県内で開催されるよう誘致活動を実施

## ◎ 人づくりと子ども支援

### ◇ 産業人材の育成

南信工科短期大学の建設準備 4172万円 <産業労働部>

南信工科短期大学の平成28年4月開校に向け、新築棟建設予定地にある既存建物2棟の解体・撤去工事等を実施

## ◇ 教育施策推進のための体制整備

新県立4年制大学の設立に向けた「県立大学設立参与」の設置 320万1千円 <総務部>  
教育課程の編成や教員の選考など新県立大学の設立に向けた準備を進めるため、理事長及び学長の予定者を「県立大学設立参与」に任用

高等教育の振興に向けた「高等教育参与」の設置 114万7千円 <県民文化部>  
高等教育における教育・研究の質の向上などを図るため、行政と教育について幅広く高度な識見を有する者を「高等教育参与」に任用

## ◇ 子ども支援の充実

⑨ 子ども支援センター(仮称)の開設準備 108万4千円 <県民文化部>  
「子ども支援センター」(仮称)の平成27年4月開設に向け、子どもの相談窓口に配置する電話相談員の研修及び制度の広報を実施

## ◎ 人口減少社会への対応

⑨ 人口定着に向けた総合戦略の策定 420万2千円 <企画振興部>  
人口定着と確かな暮らしの実現に向け、「人口減少の抑制」と「人口減少を踏まえた地域社会の維持・活性化」の取組を全県挙げて推進するための総合戦略の策定に着手